

被相続人 法務太郎 法定相続情報

最後の住所は、住民票の除票（又は戸籍の附票）により確認して記載する。（最後の本籍の記載は、申出人の任意であるが、住民票の除票等が市区町村において廃棄されている場合は、被相続人の最後の住所の記載に代えて最後の本籍を必ず記載する。）

被相続人の氏名を記載する。

住所 ○県 市 町 番地
 出生 昭和○年○月○日
 (妻)
 法務 花子

最後の住所
 ○県 市 町 番地
 最後の本籍
 ○県 市 町 番地

出生 昭和○年○月○日
 死亡 令和○年○月○日
 (被相続人)
 法務 太郎

相続人の住所の記載は任意である。記載する場合は、住民票の写し等にあるとおり記載するとともに、その住民票の写し等を提出する必要がある。記載しない場合は、「住所」の項目を削除する。

(父)
 (母)

住所 ○県 市 町 番地
 出生 昭和○年○月○日
 (弟)
 法務 次郎

(申出人)

申出人となる相続人には、「(申出人)」と併記する。

以下余白

作成者は作成した日を記載し、自身の住所を記載の上、記名する。

作成日: 令和○年○月○日
 作成者: 住所 ○県 市 町 番地
 氏名 ○○ ○○

法定相続情報一覧図は、A4縦の用紙を使用してください。なお、下から約5cmの範囲に認証文を付しますので、可能な限り下から約5cmの範囲には記載をしないでください。紙質は、長期保存することができる丈夫なものにしてください。また、文字は、直接パソコンを使用し入力するか、又は黒色インク、黒色ボールペン(摩擦等により見えなくなるものは不可)で、楷書ではっきりと書いてください。

被相続人 法務太郎 法定相続情報

最後の住所は、住民票の除票（又は戸籍の附票）により確認して記載する。（最後の本籍の記載は、申出人の任意であるが、住民票の除票等が市区町村において廃棄されている場合は、被相続人の最後の住所の記載に代えて最後の本籍を必ず記載する。）

被相続人の氏名を記載する。

住所 ○県 市 町 番地
 出生 昭和○年○月○日
 (妻)
 法務花子

最後の住所
 ○県 市 町 番地
 最後の本籍
 ○県 市 町 番地
 出生 昭和○年○月○日
 死亡 令和○年○月○日
 (被相続人)

相続人の住所の記載は任意である。記載する場合は、住民票の写し等にあるとおり記載するとともに、その住民票の写し等を提出する必要がある。記載しない場合は、「住所」の項目を削除する。

(父)
 (母)

法務太郎

住所 ○県 市 町 番地
 出生 昭和○年○月○日
 (弟)
 法務次郎

(申出人)

申出人となる相続人には、「(申出人)」と併記する。

住所 ○県 市 町 番地
 出生 昭和○年○月○日
 (弟)
 法務三郎

以下余白

作成者は作成した日を記載し、自身の住所を記載の上、記名する。

作成日: 令和○年○月○日
 作成者:住所 ○県 市 町 番地
 氏名 ○○ ○○

法定相続情報一覧図は、A4縦の用紙を使用してください。なお、下から約5cmの範囲に認証文を付しますので、可能な限り下から約5cmの範囲には記載をしないでください。紙質は、長期保存することができる丈夫なものにしてください。また、文字は、直接パソコンを使用し入力するか、又は黒色インク、黒色ボールペン(摩擦等により見えなくなるものは不可)で、楷書ではっきりと書いてください。

被相続人 法務太郎 法定相続情報

被相続人の氏名を記載する。

最後の住所は、住民票の除票（又は戸籍の附票）により確認して記載する。（最後の本籍の記載は、申出人の任意であるが、住民票の除票等が市区町村において廃棄されている場合は、被相続人の最後の住所の記載に代えて最後の本籍を必ず記載する。）

住所 ○県 市 町 番地
出生 昭和○年○月○日
(妻)
法務 花子

最後の住所
○県 市 町 番地
最後の本籍
○県 市 町 番地
出生 昭和○年○月○日
死亡 令和○年○月○日
(被相続人)

法務 太郎

住所 ○県 市 町 番地
出生 昭和○年○月○日
(弟)
法務 次郎 (申出人)

住所 ○県 市 町 番地
出生 昭和○年○月○日
(弟)
法務 三郎

住所 ○県 市 町 番地
出生 昭和○年○月○日
(妹)
法務 優子

申出人となる相続人には、「(申出人)」と併記する。

(父)

(母)

相続人の住所の記載は任意である。記載する場合は、住民票の写し等にあるとおり記載するとともに、その住民票の写し等を提出する必要がある。記載しない場合は、「住所」の項目を削除する。

以下余白

作成者は作成した日を記載し、自身の住所を記載の上、記名する。

作成日: 令和○年○月○日
作成者: 住所 ○県 市 町 番地
氏名 ○○ ○○

法定相続情報一覧図は、A4縦の用紙を使用してください。なお、下から約5cmの範囲に認証文を付しますので、可能な限り下から約5cmの範囲には記載をしないでください。紙質は、長期保存することができる丈夫なものにしてください。また、文字は、直接パソコンを使用し入力するか、又は黒色インク、黒色ボールペン(摩擦等により見えなくなるものは不可)で、楷書ではっきりと書いてください。